

授業科目

教育実習

| | | | | |
|---------------|------|----|-------|-----|
| 担当教員名 埴 佐敏 | 対象学年 | 4 | 対象学科 | スポ |
| | 開講時期 | 前期 | 必修・選択 | 選択 |
| | 単位数 | 4 | 時間数 | 120 |

ディプロマポリシーとの関連性

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|-------|-------|-------|----|-------|
| | ◎ | ○ | ◎ | ◎ |

授業の概要

教育実習は、学生という立場でありながら実習校においては指導教員の指導を得て、実際に生徒に授業を行ったり指導をしたりしていきます。

教育実習は通常3週間行います。実習の前半は、実習校での講義や講話を通して教師としての心構えや教師に求められる使命感・責任感等について理解していきます。併せて指導教員の授業参観によって授業の行い方を理解するとともに、教材研究を行いながら学習指導案の作成を行っていきます。そして実習の中頃から、作成した指導案をもとに、実際の授業を行っていきます。また実習後半には、学習指導案（細案）の作成を行い公開授業を行います。併せて実習期間中には、学級指導や部活動指導の補助を行うことがあります。

授業の目的

教職に関する教養、専門に関する知識や実技能力など、これまで習得してきた知識・技能を実際の教育現場において適用し、教師になるために必要な知識・技能・態度を習得することを目的としています。

教師には絶えず研究と修養が求められることから、深い教材研究のもと授業を行い、その授業を省察し、次の授業の改善を図っていく態度と能力を養うことや、生徒の良さを見取り、生徒の気持ちに寄り添った指導ができるようになることを目的としています。

学習目標

1. 教師の学級経営上の配慮や工夫について述べることができる。
2. 生徒とラポートを深めたり、生徒一人一人の個性の伸張を図ったりするための教師の工夫点について述べるができる。
3. 保健体育の授業を進めるにあたっての教師の工夫している点を、授業のマネジメントの観点から述べるができる。
4. 学習指導要領の主旨を生かした学習指導案を作成し、それに基づいた授業を行うことができる。
5. 自己の授業や教育活動を振り返り、問題点を明らかにして、その改善策を作成できる。
6. 校務分掌を理解し、教師として学校運営にいかにかに寄与しているかを説明できる。

授業計画

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | 担当教員 |
|------|------------------------------------|------|
| 1～15 | 教育実習(3週間) | |
| | ・講義、講話（教育実習の意義、求められる教師像、教師の服務・勤務） | 埴 佐敏 |
| | ・観察（諸教育活動、教師の指導、学習環境、学級経営、課外活動） | 埴 佐敏 |
| | ・参加（生徒の活動、学級経営、学習指導、特別活動） | 埴 佐敏 |
| | ・朝学活や終学活の指導 | 埴 佐敏 |
| | ・学習指導案（道徳）の作成と教材研究、授業実施 | 埴 佐敏 |
| | ・学習指導案（保健体育）の作成と教材研究、授業実施 | 埴 佐敏 |
| | ・学習指導案（保健体育）（細案）の作成と教材研究、公開授業及び協議会 | 埴 佐敏 |
| | ・部活動指導補助 | 埴 佐敏 |
| | ・全体のまとめと反省 | 埴 佐敏 |

使用図書

| 使用図書 | 書名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 | 価格 | その他 |
|--------|---------------------------|-----|-------|-----|------|-----|
| 教科書 | | | | | | |
| 参考書 | 学習指導要領解説保健体育編（中学校、高等学校） | | 文部科学省 | | | |
| | ステップアップ中学体育、ステップアップ高校スポーツ | | 大修館書店 | | 730円 | |
| その他の資料 | 教育実習日誌 | | | | | |
| | 教育実習ハンドブック | | | | | |

評価方法

実習校教員の見所や本学教員の訪問指導時における観点別評価、実習日誌、そして学習目標への到達状況により評価する。

履修上の留意点

教育実習を受講するためには、

- (1) 前提となる条件を満たしていること
- (2) 教員になるという強固な意志を有していること
- (3) 教職課程が別に定める手続きを行っていること が必要である。

教育実習では実習生といえども生徒にとって教師の一員であり、そのために最低限求められる知識・技能・態度を身につけていることが必要である。

オフィスアワー・連絡先

hanawa@nuhw.ac.jp